

第1回 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン懇談会 議事概要

1 開催日時	平成30年4月18日（水）14時から15時50分
2 開催場所	福井県自治会館 202・203 研修室
3 議 題	(1) 連携中枢都市圏構想・推進体制について (2) ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン（素案）について
4 出席者	ビジョン懇談会委員14名（1名欠席） 各市町政策担当職員10名 各ワーキンググループ職員15名 事務局9名
5 傍聴者数	6人
6 意見等 （抜粋要約）	● 具体的取組について 【商工関係】 ・事業承継の取組は、地域産業にとって重要な問題であるため、市町連携による取組が出来るといい。 ・事業承継は、後継者がいないという構造的な問題だけではなく、収入面の確保など様々な要因が関わってくる。広域連携や産業構造のあり方など、複雑に絡み合っ事業承継は成り立つものと感じる。 【農林水産関係】 ・農林水産物などの特産品は、県内の方々への周知が十分に行き渡っていない。地元に対して十分周知し、それを外へどのように発信していくのかという取組が必要であるため、県内あるいは地元の人たちに周知しながら、魅力を感じていただける取組が必要と感じる。 【観光関係】 ・観光面において、海外の方に次の行き場所を聞くと福井県内に行かないことが多い。福井県には、いいものがたくさんあるが周知がうまくできていないようなので、もう少し上手にPRすることに加えて、観光地間を結ぶ導線の整備も必要と感じる。 ・インバウンドに関しては、アプローチの手法など、県観光連盟の仕事と重複している部分があると感じる。 ・インバウンドの施策については、目的地へのピンポイント観光ではなく周遊型観光が重要になる。圏域内の他の観光エリアを結ぶことが必要である。 ・観光動向調査は、初期費用に多額の費用を伴うと思うが、精査していただいて、是非この事業をやっていただきたい。 【公共交通関係】 ・越前町では、交通機関は福井鉄道のバスだけで、すごく本数が少ない。

	可能なら連携によりコミュニティバスを繋げていただきたい。 【医療・福祉関係】 ・医療や福祉の分野は、就業者数が増えている。しかし、国家資格を持っている人は集まるが介護人材はなかなか集まらない。在宅医療が進むとさらに難しくなる。 ・医療圏域は県内に4つあり、そのほとんどが福井坂井地区に集中している。医者のは半分は福井市に偏在しており、休日急患も医者不足が深刻で、高齢化の進展は、医療や介護の生活機能サービスにおいても大きな問題である。 【労働関係】 ・介護人員が少ないという現状等を踏まえ、外国人の就労など人出不足対策の観点から、何か連携して取り組む事業が必要と感じる。 【情報関係】 ・今後の連携推進体制の構築という面においては、ICTを活用するなど、市民サービスに繋がることや市町間のネットワーク環境を強化する必要があると感じる。 ●成果指標について ・具体的な事業内容と成果指標との因果関係が見え難い。年度毎に目標を設定し、事業の成果が確認出来る指標を設定した方がいい。 ・連携することによる取組がどういう成果を生むのか、もう少しわかるように指標の設定を工夫してほしい。 ・成果指標は非常に大事であるが、どの指標も達成が厳しいものばかりであると感じる。本当に達成する見込みがあるのかしっかりと検討するべきであり、届かない目標を設定しても意味がない。 ●その他 ・素案に記載の圏域の特徴に、世界に通用する地場産業とあるが、世界に通用する企業は地場産業ではなくても誘致した企業もある。もう少し、工夫した表現に見直してはどうかと思う。 ・南越前町は、過疎化・高齢化が圏域内トップクラスである。連携協定によって市民サービスは向上するかもしれないが、逆に人口が福井市へ集中しないか懸念される。 以上
--	---